

このたびの平成 28 年熊本地震で被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧、復興を祈念致します。

□主な内容

【京都議定書第一約束期間の削減目標達成の正式決定等】

京都議定書第一約束期間の削減目標達成が式に決定されました。また、平成 26 年度の温室効果ガス排出量(確報値)がとりまとめられました。

<http://www.env.go.jp/press/102374.html>

<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160405005/20160405005.html>

<http://www.env.go.jp/press/102377.html>

【第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(仙台)の開催】

今年度は第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会を仙台市で 10 月 26 日～28 日の3日間開催します。(詳細はESTメルマガ特別号でご連絡します)

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 117 回)

●「オールド・ニュータウンと交通」

【広島大学大学院国際協力研究科 教授 藤原章正】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 117 回)

●「南海電鉄グループの環境保全への取り組み」

【南海電気鉄道株式会社 経営政策室環境推進部長 鎌田昭】

3. ニュース／トピック

●京都議定書第一約束期間の削減目標達成の正式な決定について【経済産業省、環境省】

●平成 26 年度の温室効果ガス排出量(確報値)について【環境省】

●平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(中小トラック運送業者向け環境対応型ディーゼルトラック補助事業)の公募について【国土交通省、環境省】

●平成 28 年度交通環境対策アクションプランの策定について【東北運輸局】

●第 9 回 EST 普及推進フォーラムの開催結果及び第 7 回 EST 交通環境大賞ダイジェストの公表について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

- 平成 28 年度モビリティ・マネジメント教育にかかわる学校支援制度の募集について【エコモ財団】
- 平成 28 年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業の募集について【エコモ財団】
- 西紀北小のスクールバスへの電気自動車導入について【篠山市】
- 市バスを情報通信基地とする実証実験の展開について【神戸市】
- 低速小型電動バス「MAYU」の運行について【株式会社桐生再生】
- 神奈川県と横浜市への電気自動車「e-NV200」の無償貸与について【日産自動車株式会社】
- 空港内における「超小型 EV コムス」の試験運用の開始について【Peach Aviation 株式会社】
- 「新インホイールモータシステム」を搭載したコンバート EV の貸与について【NTN 株式会社】
- ゼロエミッションの電気トラック「キャンター E-CELL」ドイツで初の実用供試【三菱ふそうトラック・バス株式会社】
- 独立技術委員会の自動車排出ガス検査の中期評価を実施【フランス環境・エネルギー・海洋省】

4. イベント情報

- 第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2016/10/26-28】
- レールバスと遊ぼう 2016【2016/5/3-5】
- エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ 2016【2016/5/14-15】
- 公共共通セミナー「公共交通不便地域で『くらしの足』を地域自ら確保する方法」【2016/5/16】
- 京都スマートシティエキスポ 2016【2016/6/1-3】
- モビリティウィーク&カーフリーデー2015 報告会 & 2016 説明会【2016/6/1】
- エコライフ・フェア 2016【2016/6/4-5】
- 第 9 回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会【2016/6/21】
- 九都県市エコドライブ講習会(エコトレーニング)【2016/6/14-27】
- 第 11 回日本モビリティ・マネジメント会議【2016/7/15-16】
- 第 8 回土木と学校教育フォーラム【2016/8/28】
- 第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016【2016/10/10-14】
- 第 14 回 ITS シンポジウム 2016【2016/11/10-11】
- エコプロダクツ 2016(第 18 回)【2016/12/8-10】

5. その他

- EST パートナースHIP 会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 117 回)

●「オールド・ニュータウンと交通」

【広島大学大学院国際協力研究科 教授 藤原章正】

オールド・ニュータウンという言葉は初めて耳にしたのは、ロンドン大学インペリアルカレッジに滞在中の 1996 年のことでした。英国全土にニュータウン建設が始まった 1946 年から丸 50 年が経過し、高齢化したニュータウンの現状を検証するというタイムズ紙の特集記事でした。あれから 20 年、オールド・ニュータウン問題の日本襲来です。

英国と日本とではニュータウン発展の社会背景も理念も構造も異なりますが、高齢者のモビリティ確保は共通の課題です。Special Transport Service、Dial-a-Ride(デマンド交通)、Shopping Mobility(超小型モビリティ)などの移動サービスが高齢住民の生活機会を保障する施策という文脈で議論が展開します。広島大学が 2010～11 年に地域のオールド・ニュータウンで実施した調査結果からも、いわゆる買い物難民といった社会的排除の問題がモビリティ施策によって緩和される可能性があることが分かっています。

近年、毎年のように英国に渡り、20 年前に訪れたオールド・ニュータウンをひとつひとつ巡っています。こうしたモビリティ施策が功を奏したのか、再生しているニュータウンもあれば、その逆にオールド化が深刻になっているニュータウンもありように映ります。同じような施策をとっても 20 年後に形が違って現れるのはとても興味深い事実です。

いま日本では、オールド・ニュータウンの出現と時を合わせて立地適正化計画、コンパクト＋ネットワークなど新しい都市政策が実行されつつあります。人口動態に寄り添った機能集約型まちづくりへ移行する時がやって来たのです。目先の課題に目を移したモビリティ施策だけでなく、さらに 20 年先を見据えたオールド・ニュータウン再生のための交通まちづくりが期待されます。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 117 回)

●「南海電鉄グループの環境保全への取り組み」

【南海電気鉄道株式会社 経営政策室環境推進部長 鎌田昭】

当社は、中期環境目標(平成 23 年度～平成 26 年度、平成 27 年度～平成 29 年度)を策定し、継続して環境保全活動に取り組んでいます。

「環境保全に配慮した事業活動の推進」の取り組みとして、電車の VVVF 車両の導入や VVVF 化改修、鉄道照明の LED 化、南海バスのエコドライブの実施、泉佐野駅と泉大津駅の太陽光発電、ポートレース住之江の太陽光発電所、当社の保有する「なんかいの森」の森林育成によるオフセット・クレジットの活用など、南海電鉄グループを挙げて CO₂ 排出量削減に取り組んでいます。沿線駐車場、遊園地や商業施設と連携したパーク&ライドも実施し、お客さまの公共交通利用促進に取り組んでいます。「なんばパークス」のパークスガーデンは、「都会のオアシス」となる憩いの場を提供し、日立環境財団・日刊工業新聞社主催の「第 41 回環境賞」の優良賞を受賞した他、アメリカの有名な旅行専門誌「Travel + Leisure」で世界でもっとも美しい都市公園の 1 つに選ばれています。

「地域社会との協働、コミュニケーションの強化」の取り組みとして、「多奈川ビオトープ活動」、「共生の森イベント」、「なんばエコプロジェクト」、「森林保全活動」等で、地域とともに環境保全活動及び生物多様性保全活動に取り組んでいます。環境ボランティア活動への従業員参加促進制度「ECO ニストプログラム」も実施し、全社的に環境活動に取り組んでいます。また、高野山・世界遺産きっぷ等により、公共交通の利用促進に取り組み、CO₂ 排出量削減に貢献しています。高野山・世界遺産きっぷは、平成 26 年度と平成 27 年度の 2 年間で 24 万人以上のご利用があり、お客さまの鉄道・バス移動に伴う 800t 以上の CO₂ をオフセットします。

「環境経営に係る情報発信機能の強化」の取り組みとして、社外に対しては、CSR 報告書の公開や GDP への継続対応を行うことで情報発信を実施しています。

「環境経営の推進体制の強化」の取り組みとして、本社と千代田工場の ISO14001 認証継続更新を行います。また、世界遺産である高野山町石道・熊野古道の道普請等を通じて社員への環境教育を実施しています。

今後とも南海電鉄グループを挙げて、環境活動に取り組んでいきます。

3. ニュース／トピック

●**京都議定書第一約束期間の削減目標達成の正式な決定について【経済産業省、環境省】**

環境省、経済産業省では、京都議定書第一約束期間の6%削減目標について、我が国の償却状況に係る国連の審査が完了し、我が国の京都議定書第一約束期間の6%削減目標の達成が正式に決定されたことを発表しました。

<http://www.env.go.jp/press/102374.html>

<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160405005/20160405005.html>

●**平成26年度の温室効果ガス排出量(確報値)について【環境省】**

環境省と国立環境研究所は、平成26年度の我が国の温室効果ガス排出量(確報値)をとりまとめました。平成26年度の温室効果ガスの総排出量は13億6,400万トン(二酸化炭素(CO₂)換算)で、前年度比3.1%減(2005年度比2.4%減、1990年度比7.3%増)でした。

<http://www.env.go.jp/press/102377.html>

●**平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(中小トラック運送業者向け環境対応型ディーゼルトラック補助事業)の公募について【国土交通省、環境省】**

国土交通省、環境省では、トラック輸送におけるCO₂排出削減を図るため、投資余力の少ない中小トラック運送業者を対象に、燃費性能の高い環境対応型ディーゼルトラックへの買い換えを支援する補助事業の公募を開始いたします。公募期間は平成29年1月31日(火)までです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000101.html

<http://www.env.go.jp/press/102415.html>

●**平成28年度交通環境対策アクションプランの策定について【東北運輸局】**

東北運輸局では、各年度における交通環境対策の具体的な取り組みを明らかにし、これら交通に係る環境問題の解決を図ることを目的として、平成28年度の「東北運輸局交通環境対策アクションプラン」を策定しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/puresu/puresu/kk160411.pdf>

●第9回 EST 普及推進フォーラムの開催結果及び第7回 EST 交通環境大賞ダイジェストの公表について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団は、第9回 EST 普及推進フォーラムの開催結果と第7回 EST 交通環境大賞に受賞した取り組みの内容、表彰式の様子、講評等をまとめた資料(ダイジェスト)を EST ポータルサイトに掲載しました。

http://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka10.html

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015_02.html

●平成28年度モビリティ・マネジメント教育にかかわる学校支援制度の募集について【エコモ財団】

エコモ財団では、モビリティ・マネジメント教育の実施に意欲的な教員に対して、ノウハウの提供や資金面での支援を行い、実施校の拡大と新たな教材事例の増加を図ることを目的として本制度を実施しています。現在、平成28年6月30日まで平成28年度分の支援校を以下のホームページで募集しています。

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●平成28年度交通・観光カーボンオフセットモデル事業の募集について【エコモ財団】

エコモ財団では、交通・観光分野でのカーボンオフセットの普及促進を図るため、事業者が自社商品・サービスにカーボンオフセットを導入する際の負担を軽減し、CO2排出量の算定や排出権の購入をウェブ上で可能にする「交通・観光カーボンオフセット支援システム」を平成21年度に構築し、運用しています。本事業では、交通・観光カーボンオフセット支援システムを用いた、カーボンオフセットの取組みに関する事業計画で、他の交通・観光事業者のモデルとなり得るものを募集します。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/20160420.html

●西紀北小のスクールバスへの電気自動車導入について【篠山市】

篠山市は、日産自動車から電気自動車「e-NV200」の3年間の無償貸与を受けました。この電気自動車を西紀北地区のスクールバスとして運用することとし、4月4日に西紀北小学校で電気自動車の引渡と出発式を行いました。

<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/mayor/diary/post-1015.html>

●市バスを情報通信基地とする実証実験の展開について【神戸市】

神戸市では、平成28年2月から、情報通信基地としての市バスの活用に関する実証実験の第一段階として、バスロケーションシステム実証実験を行ってきました。実験の次なるステップとして、市バス66系統(貿易センター～しあわせの村)について、市民の方が、バスが実際にどこを走っているのかパソコンやスマートフォンで確認できるシステムが公開されました。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2016/04/20160418702101.html>

●低速小型電動バス「MAYU」の運行について【株式会社桐生再生】

桐生市菱町では、低速電動バス MAYU の新たな出発式が 4 月 5 日に行われました。電動で環境に優しく、低速で人に優しい MAYU は、これまでも様々なイベント会場での運行、住民の便利な足代わりの運行、導入試験運行など様々な用途で利用されています。

<http://saisei.kiryu.jp/topics.html>

●神奈川県と横浜市への電気自動車「e-NV200」の無償貸与について【日産自動車株式会社】

日産自動車株式会社では、電気自動車(EV)「e-NV200」を神奈川県に 3 台、横浜市に 2 台、無償貸与したことを発表しました。日産自動車株式会社は、より良い街づくりや行政課題の解決等の一助となる「e-NV200」の活用方法を考案された自治体に対して、同車を 3 年間無償貸与し実際に活用してもらい取り組みを行っており、昨年末より順次貸与を始めています。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2016/_STORY/160408-02-j.html

●空港内における「超小型 EV コムス」の試験運用の開始について【Peach Aviation 株式会社】

Peach Aviation 株式会社は、4 月 1 日より、関西空港内でトヨタ車体株式会社の「超小型 EV コムス」を活用したデモ試験運用を開始しました。なお、空港施設内で超小型電気自動車の試験運用を行うのは日本で初めての試みです。

<http://www.flypeach.com/Portals/1/PressReleases/2016/160401-Press-Release-J.pdf>

●「新インホイールモータシステム」を搭載したコンバート EV の貸与について【NTN 株式会社】

NTN 株式会社は、「伊勢志摩サミット」応援の一環として新たに開発した「インホイールモータシステム」を搭載した改造電気自動車(コンバートEV)を、三重県と桑名市へそれぞれ貸与しました。

<http://www.ntn.co.jp/japan/news/press/news201600028.html>

●ゼロエミッションの電気トラック「キャンター E-CELL」ドイツで初の実用供試【三菱ふそうトラック・バス株式会社】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、シュトゥットガルト市と物流事業会社ヘルメス社に小型電気トラック「キャンター E-CELL」5 台を提供し、1 年間の実用供試を開始しました。シュトゥットガルト市に提供する 4 台のトラックのうち 2 台はダンプ仕様で道路および都市景観工事、2 台はバン仕様で家財運搬とゴミ収集、また物流事業会社に提供する車両は都市内配送に使用されます。

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/news_content/160412/160412.html

●独立技術委員会の自動車排出ガス検査の中期評価を実施【フランス環境・エネルギー・海洋省】

フランス環境・エネルギー・海洋省は、排ガスによる大気汚染を防ぐ取り組みの一環として、自動車 100 台で汚染物質排出を検査するプログラムを進めていますが、その実施にあたる独立技術委員会のプログラム中期評価会合を開催しました。

<http://www.developpement-durable.gouv.fr/Segolene-Royal-poursuit-son-action.html>

4. イベント情報

●第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2016 年 10 月 26 日(水)~28 日(金)

場所:仙都会館 8階 会議室など

主催:EST普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

※詳細はESTメルマガ特別号でご連絡します。

●レールバスと遊ぼう 2016

日時:(1 日目)2016 年 5 月 3 日(火)12:00~15:00

(2 日目)2016 年 5 月 4 日(水)10:00~15:00

(3 日目)2016 年 5 月 5 日(木)10:00~15:00

場所:南部縦貫鉄道旧七戸駅

主催:七戸町観光協会、南部縦貫レールバス愛好会

<http://www.ogaemon.com/r-bus/2016iv.htm>

●エコ&セーフティ神戸カーライフ・フェスタ 2016

日時:(1 日目)2016 年 5 月 14 日(土)11:00~17:00

(2 日目)2016 年 5 月 15 日(日)10:00~17:00

場所:神戸メリケンパーク

主催:環境省、神戸市、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

<http://www.env.go.jp/press/102267.html>

●公共共通セミナー「公共交通不便地域で『くらしの足』を地域自ら確保する方法」

日時:2016 年 5 月 16 日(月)10:00~17:00

場所:名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1 階 ES ホール

主催:名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

<http://ercscd.env.nagoya-u.ac.jp/jpn/announcements/event/ptseminar.html>

●京都スマートシティエキスポ 2016

日時:(1日目)2016年6月1日(水)10:00~17:30

(2日目)2016年6月2日(木)10:00~17:30

(3日目)2016年6月3日(金)10:00~16:30

場所:国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか

主催:京都スマートシティエキスポ 2016 運営事務局

<http://expo.smartcity.kyoto/>

●モビリティウィーク&カーフリーデー2015 報告会 & 2016 説明会

日時:2016年6月1日(水)18:00~20:00

場所:JICA 地球広場・セミナールーム 601/602

主催:一般社団法人カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/5489cadc80f1ef37d19c2ca316f1d84d>

●エコライフ・フェア 2016

日時:(1日目)2016年6月4日(土)11:00~17:00

(2日目)2016年6月5日(日)10:00~17:00

場所:代々木公園

主催:環境省

<http://ecolifefair.env.go.jp/>

●第9回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会

日時:2016年6月21日(火)15:45~17:40

場所:日本財団 2階第1~3会議室

主催:交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfyosei/2016/bfyosei_2016_report9_top.html

●九都県市エコドライブ講習会(エコトレーニング)

日時:(1日目)6月14日(火)

(2日目)6月20日(月)

(3日目)6月25日(土)

(4日目)6月27日(月)

場所:(1日目)千葉県自動車練習所

(2日目)セイコーモータースクール

(3日目)KANTO モータースクール横浜西口校

(4日目)尾久自動車学校

主催:一般社団法人 日本自動車連盟

九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

<http://www.9taiki.jp/news/2016/pdf/201604mousikomi.pdf>

●第11回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2016年7月15日(金)、16日(土)

場所:松山市立子規記念博物館(道後温泉)

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●第8回土木と学校教育フォーラム

日時:2016年8月28日(日) 9:00~17:00

場所:土木学会 講堂、A・B 会議室

主催:土木学会

共催:エコモ財団

<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/cvilandeducation/forum8.html>

●第23回 ITS 世界会議メルボルン 2016

日時:2016年10月10日(月)~14日(金)

場所:The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC)

主催:メルボルン世界会議組織委員会

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/melbourne_2016/

●第14回 ITS シンポジウム 2016

日時:2016年11月10日(木)~11日(金)

場所:北海道大学 クラーク会館

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、北海道大学

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/

●エコプロ 2016「環境とエネルギーの未来展」

日時:(1日目)2016年12月8日(木)10:00~18:00

(2日目)2016年12月9日(金)10:00~18:00

(3日目)2016年12月10日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/>

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>